

松井かよ子の市議会報告



市民のいのちと暮らしを守ることを求め、 2023 年度予算案に賛成

2023 年度は千葉市基本計画 (2023～32 年度) の初年度です。千葉市の市税収入は増加傾向にありますが、コロナ禍や物価高騰への対応、新清掃工場 (若葉区) の建設、新海浜病院の整備など、多額の支出が必要です。市債 (市の借金) を発行したり、財政調整基金 (市の預金) を取り崩したりするなどの対応がおこなわれます。



令和 5 年度予算の内容はこちらからご覧になれます。(千葉市 HP)

一般会計	4,830 億円
特別会計	4,360 億 6,300 万円
合計	9,190 億 6,300 万円 (前年度比 1.1%の減)

■ 市民ネットワークが評価した事業

- ◆誰もが遊べる (インクルーシブな) 広場づくり
- ◆デマンド交通社会実験
- ◆避難行動要支援者の個別避難計画作成
- ◆デジタルを活用した平和資料館の開設準備
- ◆がん集団検診時の子どもの見守り
- ◆こども発達相談室開設準備
- ◆児童生徒性暴力等防止対策検討委員会の設置
- ◆公立夜間中学 (真砂中学校かがやき分校) 4 月開校
- ◆有機食材を活用した学校給食モデル事業
- ◆地球温暖化対策実行計画策定



豊砂公園に設置されたインクルーシブな遊具

予算審査特別委員会 教育未来分科会から

子ども医療費の見直しがおこなわれます

子ども医療費の薬の保護者負担額は 1 回 300 円 (小 4～中 3 500 円)。市民ネットは 3 年前の導入時、多子世帯や頻りに医療を利用する 0～2 歳世帯への配慮がないとの理由で反対しました。市民の声が届き、今年 8 月から薬は無料になります。



稲毛国際中等教育学校の英語教育の充実は地域との連携から

英語教育強化のため、オンライン英会話の導入と外国人講師の増員 (5 名→6 名) がおこなわれます。目的はスピーキング能力の向上ですが、公費でオンライン英会話を導入することについて疑問を投げかけました。

美浜区は海外とのつながりがある市民が多い地域です。地域との結びつきを強めて、生きた英語を学べるようにしたほうがよいのではないかと、加えて、外国人が多い地区の課題解決にも、中等教育学校が主体的に関わってはどうかなどの提案をしました。



退任のご挨拶 松井かよ子

8 年間にわたって「松井かよ子の市議会報告」をお届けしましたが、今回が最後となります。これまで皆様から頂いたご指摘やご意見は議員活動の糧となり、私自身の人生の羅針盤となりました。心より感謝申し上げます。

次回からは「黒澤和泉の市議会報告」として、紙面もリニューアルされます。引き続きのご支援をお願いいたします。

松井かよ子 一般質問から

「おひとりさま」へは納得のいく支援を

千葉市あんしんケアセンターは、身寄りがまったくない、あったとしても疎遠で頼ることができない「おひとりさま」の相談に応じています。終活支援 (エンディングサポート) の紹介もしています。おひとりさまは家のこと、お金のこと、病院や施設のことなど、長期にわたる支援が必要です。1 人ひとりにとって、納得のいく選択ができるよう、情報の提供と寄り添いをおこなうよう求めました。



千葉市発行「おひとりさま支援の手引き」

出産前から登録できる「マイ保育園」のしくみを

千葉市では保健福祉センターにある「母子健康包括支援センター」が、妊娠期から子育て期の相談に応じています。しかし、相談の窓口に行ったり、電話をかけたりするのはハードルが高いと感じる場合もあり、日頃からちょっとしたことを聞ける、おしゃべりができるなどのつながりを求めている人も多いと感じます。



イメージ写真

大阪府堺市、東京都江東区、千葉県市川市では、在宅で子育てをしている方や出産を予定している方が、身近な保育施設を「マイ保育園」として登録し、こどもとの遊びや接し方、おむつ替えの体験、妊婦さんの仲間づくり、保育園で実施するイベントや地域交流などに参加できるそうです。

未就学児、特に転入後すぐの未就園児や初めての出産の場合は、地域社会との関わりがないまま、子育てが始まってしまい、先の見通しが持てず、不安やストレスを抱えるケースが多くなります。

現在、公立保育所では園庭開放のしくみがありますが、さらに進んで「マイ保育園」に登録できるしくみをつくり、気軽に足を運べる、話せる場所づくりを提案しました。

小規模校を活用して特色ある教育を

特色ある公立学校が全国各地で見られます。高知県香美市には公立小学校初の IB (国際バカロレア) 認定校「大宮小学校」があります。広島県福山市にはドイツで生まれ、オランダで発展したイェナプラン教育の「常石ともに学園」が今年度開校し、市内全域から通学可能です。低学年児童の 7 割は市外、県外からの転入とのこと。こどもがいることで、地域が元気になり、運動会などの行事は地域ぐるみで行われています。

教育委員会の主導で特色ある学校をつくることは可能です。児童生徒数が減少する小学校については、統廃合でなく、特色あるカリキュラムの学校にすることを提案しました。

千葉市のピック

千葉市はパートナーシップ宣誓制度*を導入済ですが、加えて、未成年の子を含めた関係を登録・証明する「ファミリーシップ」が始まりました。証明書やカードに子の氏名を記載し、家族であることを公的に証明します。

*パートナーシップ宣誓制度… 同性・異性を問わず、パートナーであることを宣誓し、証明する制度



市民ネットワーク 市議会議員

市民ネットワーク会派の HP で質問・討論内容がご覧になれます。

<http://shimin-network.jp/>



岩崎明子 (若葉区) 松井かよ子 山田京子 (若葉区)